

# 日本動物看護学会 第14回 関西地区例会 抄録集

開催日：2025 年（令和 7 年） 3 月 2 日(日)

会場：京都動物専門学校



## 例会長挨拶

日本動物看護学会 第14回関西地区例会長  
オリーブ動物医療センター  
西 景子

日本動物看護学会は、動物看護を学問として発展させるための学術団体として設立され、関西地区での例会も今回で14回目の開催となりました。今回も、開催のために仕事の合間を縫って愛玩動物看護師・アニマルケアスタッフが有志で企画し、会場となっている京都動物専門学校・愛玩動物看護学科2年生の有志が集まってくれた学生たちと共に運営を行い、皆さまをお迎えさせていただきます。より運営企画しやすく、皆様との距離が近い例会を目指し、規模は小さくなりましたが、関西らしく参加者の方と一緒に盛り上げられるような会となるよう準備しております。

そして、この関西地区例会開催の意義にご賛同いただいた企業様や後援して下さった関係機関の方々、会場となっている南京都学園・京都動物専門学校の関係者の方々にこの場をお借りして深くお礼申し上げます。

私たちの念願であった動物看護師の国家資格化は、2019年6月21日の愛玩動物看護師法成立、2022年5月1日の施行を受けて本年2月には、第3回国家試験が実施されました。愛玩動物看護師の名簿登録者数は21,836名（2025年1月9日現在、動物看護師統一認定機構）となりました。

また、本年は愛玩動物看護師法の施行後、はじめて動物看護専門学校3年制の受験年となり、今後より多くの愛玩動物看護師が誕生することでしょう。

国家資格を得て終わりではなく、ここからがスタートです。今後は、国家資格者として「動物看護とは何か」を考え、実践し、論じていかななくてはなりません。現場の試行錯誤している動物看護こそが、今後の動物看護の発展につながるのではないのでしょうか。関西地区例会は関西の愛玩動物看護師が日々実践している動物看護を共有できる場として今後もあり続けると期待しています。

今回は、現場で試行錯誤している事例・研究である一般演題をはじめ、アンケート企画として、ご参加の方々へ会場内でアンケートに答えていただき、アンケート結果をリアルタイムで共有することで、皆さまの次なるステップや将来設計の一助となれればと願っております。他にも、明日への動物看護に活かしていただけるランチョンセミナーや基調講演を準備しております。

最後に、私もはじめての一般演題発表は関西地区例会でした。動物看護研究を通じて、たくさんの方との出会いとそこが縁につながり、現在に至ります。

今後も例会は愛玩動物看護師の未来のために開催されます。愛玩動物看護師はもちろん、愛玩動物看護師に関わってくださる多くの方々にもご参加いただき、例会での「つながり」を今後にも遺せていただけることを期待しています。

## 目次

|                                                      |     |
|------------------------------------------------------|-----|
| 例会長挨拶                                                | P2  |
| 開催案内                                                 | P4  |
| 例会運営についてのお願い                                         | P5  |
| 会場へのアクセス                                             | P6  |
| フロアマップ                                               | P7  |
| タイムスケジュール                                            | P8  |
| 一般演題発表                                               | P9  |
| ランチョンセミナー                                            | P14 |
| 臨床現場で直面する内外部寄生虫・犬猫の感染症の知識をレベルアップ<br>～寄生虫駆除薬と犬猫のワクチン～ |     |
| 基調講演                                                 | P16 |
| 動物病院でこそ実感する！ノーズワークの魅力                                |     |

## 開催案内

### 日本動物看護学会 第 14 回関西例会

開催日

2025 年 3 月 2 日

会場

京都動物専門学校

例会長

西 景子（オリーブ動物医療センター）

主催

一般社団法人日本動物看護学会 第 14 回関西地区例会

## 例会運営についてのお願い

### 参加者の方へ

- 事前登録者は受付でお名前をお伝えください。名札をお渡しいたします。
- この抄録集は当日ご持参くださいますようお願いいたします。
- 当日参加者は、受付で参加費(会員 3,500 円、非会員 5,500 円)を支払い、名札をお受け取りください。
- 学生の参加費は 1,000 円です。学生証をご提示ください。
- 昼食を事前申し込んでいる方は、受付時に昼食代 500 円をお支払いください。
- 大会中は名札のご着用をお願いいたします
- クロックは 2 階に設置しています。詳細は当日クロックにてお尋ねください。なお、貴重品や壊れ物等のお預かりはできません。

### 口頭発表の方へ

- 発表データ・持参 PC の確認を 10:00～10:20 に行います。本会場へお越しください。
- PC 本体をご持参される方は、コネクタも必ずご持参ください。
- 発表 8 分・質疑応答 2 分の計 10 分間です。持ち時間を厳守してください。
- 次の発表者は、前の発表が始まる前までに次演者席にご着席ください。
- 発表の際は、発表者本人によるパソコン操作をお願いいたします。

### 懇親会

- 懇親会は 16:30～18:00 に当会場にて行います。参加費（一般 2,500 円、学生 2,000 円）は当日、受付にてお支払いください。

### 地区例会の開催可否のご連絡および非常時の避難経路等について

- 災害が予想されるような悪天候および震災等の緊急事態時については例会長および例会事務局にて開催の可否を決定の後、中止の判断が出た時に限り、下記、本例会ホームページを使用して周知します。前日までに上記の決定があった場合には 3 月 1 日（土）の午前 11 時を目途に掲載予定です。詳しくは例会事務局までお問合せください。

日本動物看護学会 第 14 回関西地区例会ホームページ

<https://kansaireikai.wixsite.com/jimukyoku>

- 非常時の避難経路については各会場スタッフの指示に従ってください。

### 会場での注意事項

- 会場となる京都動物専門学校敷地内および周辺は全面禁煙です(喫煙所はございません)。また、会場周囲での路上喫煙もご遠慮ください。
- 利用者専用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用の上、お越しください。

## 会場へのアクセス



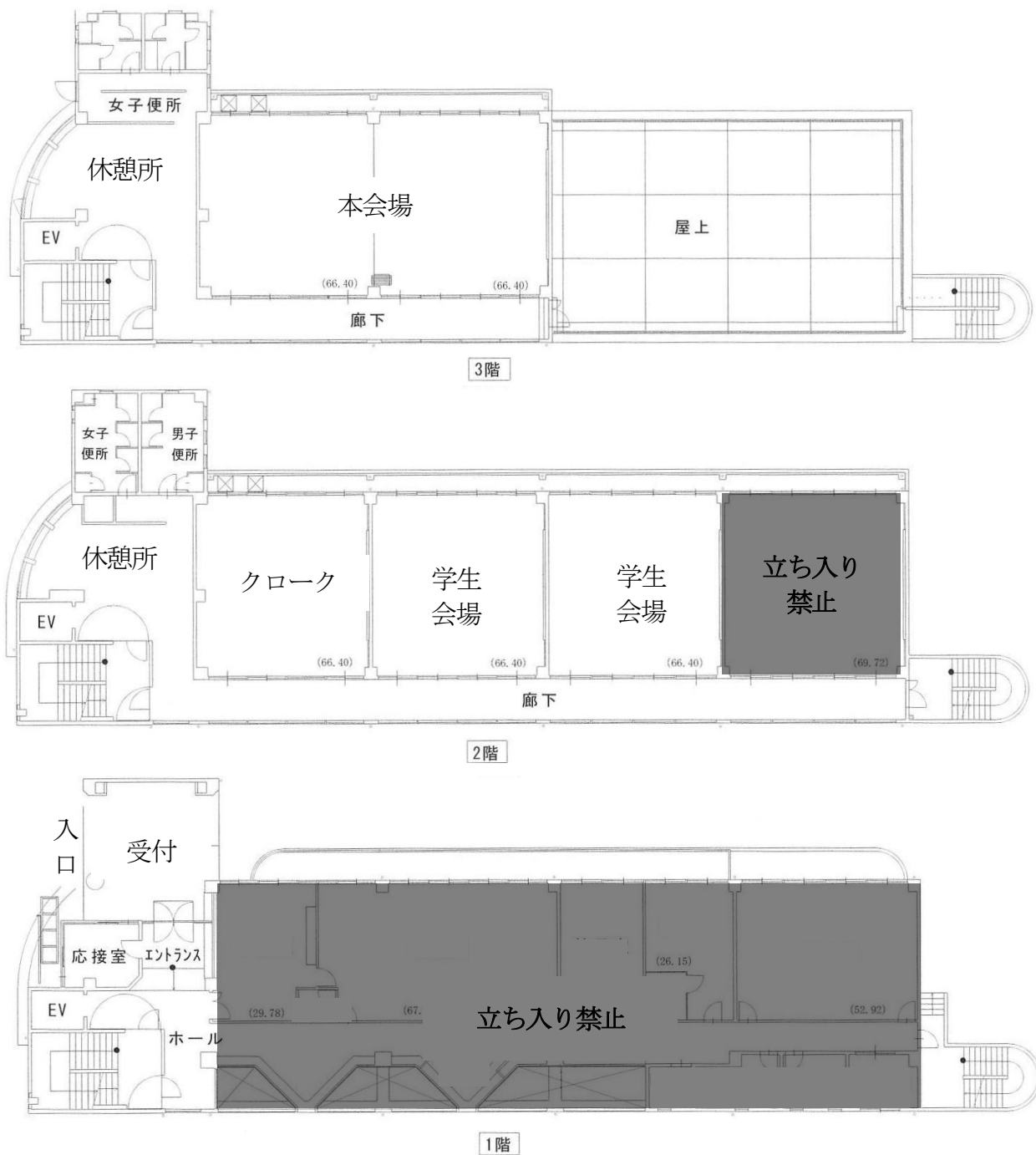
近鉄京都線 近鉄丹波橋駅 下車→徒歩3分

京阪本線 丹波橋駅 下車→徒歩3分

JR 奈良線 桃山駅 下車→徒歩8分

## 会場案内

### 教室配置図 1号館



## タイムスケジュール

10:30～10:40 開会

10:40～11:30 一般演題発表

11:30～13:10 ランチョンセミナー

「臨床現場で直面する内外部寄生虫・犬猫の感染症の知識をレベルアップ

～寄生虫駆除薬と犬猫のワクチン」

MSD アニマルヘルス株式会社 草地 一憲

13:10～14:15 アンケート企画

14:15～16:30 基調講演

「動物病院でこそ実感する！ノーズワークの魅力」

バーニー動物病院行動診療科獣医師

ノーズワークファンフレンズ公認インストラクター 堂山 有里

16:30 閉会

16:30～18:00 懇親会



## 一般演題発表

口頭発表 8分/質疑応答 2分

1 ～ 2

## 犬の心電図検査におけるストレス軽減のための自由体位の可能性

○丸山帆夏、森尚志

1) ダクトリ動物病院 京都医療センター

### 序文

心電図は、心筋の興奮によって生じる電位変化を、体表に装着した電極で記録したものであり、心疾患の判定や術前検査などに用いられる。アーチファクトは主に3種類あり、交流障害・基線の揺れ・筋電位の混入がある。<sup>1)</sup>

心電図検査は右横臥位で行う測定方法が一般的である。<sup>1) 2)</sup> 当院においても右横臥位での測定を実施している。しかし、看護動物を横臥位にすることはストレスや不快感を引き起こす可能性がある。

本研究では、自由体位での心電図測定が右横臥位に比べて波形やアーチファクトにどのような影響があるかを調査した。

### 材料および方法

本研究は、ASA-PS 分類 I の小型犬 15 頭で行った。調査期間は、2024 年 7 月 10 日～2024 年 12 月 13 日の約 5 ヶ月間とし、調査期間中に行われた麻酔前検査の結果を使用した。検査は右横臥位での測定後に自由体位で測定を行った。

調査項目は、右横臥位と自由体位での心電図波形の変化、アーチファクトの有無、看護動物の性格上の問題の3点とした。

### 結果

右横臥位と自由体位での結果を比較した際、波形が大きく変化しなかった頭数は 15 頭中 10 頭であった。アーチファクトの有無においては、右横臥位での測定で 15 頭中 5 頭、自由体位では 15 頭中 12 頭で認められた。心電図測定中に見られた問題点として攻撃性があった看護動物は 15 頭中 1 頭、緊張からの震えがあった看護動物は 15 頭中 13 頭、心電図測定中動きがあった看護動物は 15 頭中 10 頭であった。極度の緊張から動きが制限される看護動物もいたが、多くは右横臥位にする際に攻撃性や震え、動く様子が見られた。

### 考察

今回の調査では測定体位による心電図波形の大きな変化が見られなかった。

アーチファクトの有無において右横臥位の方が自由体位より少なかった。調査開始前は自由体位の方がストレスも少なく、アーチファクトが少ないと考えていたが、想定とは反対の結果が得られた。理由として保定はせず身体を支えるのみであったため、筋電位が混入しやすかったためと推察した。また、今回は右横臥位にしてから自由体位での測定であったため、右横臥位で起こった緊張が自由体位でも続いていたことも考慮される。

性格上の問題のある看護動物では、右横臥位の方が攻撃性や震え、動きがある様子が見られたことから、ストレス、不快感が強いことが分かった。

本調査において、心電図波形に大きな変化が見られなかったことから、右横臥位と自由体位の

測定方法に差はないと考えた。一方性格上問題のある看護動物では、ストレスや不快感を軽減できる自由体位での測定でも十分な結果が得られるのではないかと考えた。今回の調査では右横臥位から自由体位に移行した際、先行する緊張が波形やアーチファクトに影響したと推察される。今後は自由体位での測定を先に実施するなどの研究を計画したい

#### 引用・参考文献

- 1) 高野裕史 (2022) 診療現場ですぐ役立つ！犬と猫の心電図
- 2) 中田 義禮, 鈴木 順, 佐村 恵治, 臼居 敏仁 (1988) 記録時の体位がイヌの心電図測定値に及ぼす影響

## 僧帽弁形成術から術後 127 日目に感染性心内膜炎を発症した犬の 1 例について

○西浦利加・村田麻衣子・園真由美・野尻麻衣・三村貴大

1) オリーブ動物医療センター

2)

### 序文

僧帽弁閉鎖不全症(MR)に罹患した患者に対し、内科的治療だけではなく僧帽弁形成術 (MVP)もしばしば実施される。手術は心臓を切開するため心肺を停止させ体外循環を回すなど侵襲性が高く手術後の合併症のリスクも高い。重篤な合併症の一つに感染性心内膜炎 (IE)があり MVP を実施した患者は発症リスクが高くなる。感染経路が手術中や術後の血管カテーテルなどからが多く、当院でも過去に発症した 2 例は術後 15 日で発症したが、本症例では術後 127 日目に IE と診断された。菌血症の原因発生と症状の出現までは 2 週間程度とされるため退院後に原因発生が起こったと考えられるが、実際に感染したタイミングや経路が不明なままであった。IE は死亡リスクの高い病態であるため、術後管理を行う看護師にとって早期発見とその予防に務めることが非常に重要である。本症例を振り返ることにより再発防止に役立てることができればと考えた。

### 材料および方法

症例は MVP を受けた 13 歳小型雑種避妊雌。手術後の入院では食欲不振と肝数値上昇、WBC と CRP の上昇がみられたが発熱や胸腹部超音波検査も問題なく手術による炎症反応と考え術後 10 日目に退院したが術後 127 日目に *staphylococcus epidermidis*(MRSE)が検出され IE と診断された。退院後から診断されるまでの経過を振り返り感染時期、感染経路を検討、考察する。

### 結果

術後 127 日目に IE と診断されるまでに気になる症状がいくつかみられた。①術後 31 日目で降:BUN 軽度上昇、嘔吐②術後 40 日目:胸腰部痛③術後 59 日目:IP,CRP の軽度上昇④術後 86 日目:感染性結膜炎、結膜の出血点、CRP 上昇⑤術後 109 日目:体重減少⑥術後 119 日頃より食欲低下⑦術後 124 日目:CRP7 以上⑧術後 126 日目:鼻炎のような症状がみられた。その後抗生剤治療を行い術後 153 日目で血液培養で陰性を確認し、人医のガイドラインに沿って抗生剤治療を続け術後 193 日目で退院した。現在も良好に経過している。

### 考察

IE の臨床兆候と合致するものと腎盂腎炎からの腰部痛、結膜の出血点、鼻汁があげられる。腎盂腎炎に関しては尿検査での異常がなく症状も軽度であること、腰部痛発生から IE 診断までの期間が 87 日あることから否定的だと考える。術後 86 日目の結膜の出血点と CRP 上昇は細菌感染から考えられる。明らかな体温の上昇が認められなかったが、その後体重減少や食欲不振がみられてたためこの時点での感染の可能性があったと考えた。④の 2 週間前にあった出来事として術後 73 日目に同施設でトリミングを受けており皮膚に炎症があることが確認されている。検出された細菌がメチシリン耐性菌であったことから院内での感染が考えられ皮膚の炎症部からの感染が原因とも考えられるが IE に関しては口腔からの感染の可能性も高く決定的な事象がないかぎり感染経路を把握することは難しいと感じた。感染経路の把握が難しいからこそ退院後もバイタルの変

化や食欲などの小さな変化にを見逃さず、MVP 後の患者において IE に罹患している可能性を考え臨床兆候と合致していないか注意する必要がある。

#### 引用文献

日本感染症学会 <https://www.kansensho.or.jp/ref/d10.html>(参照 25-1-24)

日本循環器学会(2017 改訂)感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン

菊池賢(2008)病原体別にみた院内感染と対策

博多研文(2014)感染性心内膜炎発症における口腔内細菌の関与

## ランチョンセミナー

臨床現場で直面する内外部寄生虫

犬猫の感染症の知識のレベルアップ

～寄生虫駆除薬と犬猫のワクチンについて～

講師：草地 一憲（MSD アニマルヘルスケア株式会社）

## 臨床現場で直面する内外部寄生虫・犬猫の感染症の知識をレベルアップ ～寄生虫駆除薬と犬猫のワクチンについて～

草地 一憲

MSD アニマルヘルス株式会社  
CA 事業部 西日本カスタマーチーム

### はじめに

これから先の愛玩動物看護師は、国家資格化されたことによりこれまで以上に責任のある業務を任されるようになり、業務を遂行するにあたり深い知識が求められます。今回のランチョンセミナーでは、小動物臨床の現場で直面する機会の多い犬や猫の内外部寄生虫の解説と共に、感染症の基礎から応用までを解説させていただきます。今後の国家試験対策として本セミナーを受講いただくと共に、実際の小動物臨床での業務において、正しい知識の下、しっかりとした対応ができるようになっていただくことを目的としています。

### 内容

#### ・犬と猫のおもな寄生虫について

小動物臨床の現場で遭遇する頻度の高いノミ、マダニといった外部寄生虫およびフィラリアを含む内部寄生虫の生態とその対策としての駆除薬・予防薬について解説します。またマダニが媒介する感染症で、獣医療とも関わりの深い重症熱性血小板減少症（SFTS）についても説明します。

#### ・犬と猫の感染症について

犬と猫において重要で、とりわけ若齢動物にとっては致命的ともなる感染症の特徴や症状について解説します。さらに動物看護師として知っておくべきワクチンに関する知識や起こりうる副反応、WSAVAによるワクチネーションガイドラインで定義されるコアワクチンの考え方を説明します。

### ねらい

前半の内外部寄生虫と駆除薬のパートでは、地域や季節によって異なる寄生虫の生態や、犬と猫のライフスタイルに合わせた対策方法を知ること、今後の小動物臨床での飼い主様への正しいインフォームができるようになっていただくことを目指します。

後半の感染症とワクチンのパートでは、よく遭遇する重要な感染症や感染経路、その対策方法を知っていただくことで、感染症対策への意識を高めていただくことを目的としています。

また、ワクチネーションプログラムや副反応への対処法を学ぶことで、いざという時に正しい対応ができるようになっていただくことを目指します。

## 基調講演

### 動物病院でこそ実感する！ノーズワークの魅力

講師：堂山 有里

(バーニー動物病院行動診療科)



## 動物病院でこそ実感する！ノーズワークの魅力

堂山有里 バーニー動物病院

私たちの周りには日々色々な匂いが溢れています。淹れたてのコーヒー、甘いメープルシロップのかかったワッフル、香ばしく焼ける屋台のとうもろこし・・・食いしん坊な私は匂いと言われるとどうしても美味しそうな食べ物の匂いを思い浮かべてしまいます。あなたはどんな匂いが好きですか？

犬は匂いを嗅ぐのが得意な動物であることはみなさんご存知の通りです。犬の嗅覚が超高性能な理由は、その祖先である小型の哺乳類が誕生した時代哺乳類は夜行性で暗闇の中で匂いを頼りに食物を探し出していたからです。犬の祖先のうち嗅覚を利用してより上手に探索・採食活動ができた個体は生き残り、できない個体は息絶えていきました。そうやって現代まで淘汰されることなく生き残った犬は必然的に匂いを嗅ぐことが上手いのです。また猫も同様に優れた嗅覚を持っています。

さて、ここで現代の犬や猫の生活を思い浮かべてみるとどうでしょう。この20年ほどで犬や猫の飼育は室内飼いが主流となり、ほとんどの時間を限られた空間の中で過ごすようになりました。餌は自力で探すものではなく、飼い主から決まった時間に与えられるものとなりました。これまで採食活動に1日のほとんどの時間を当てていた犬や猫は、餌を探すという本能行動を取る機会を失ってしまいました。

栄養のある食物が十分に与えられ飢えることのない生活は幸せな生活です。でも、自らの身に置き換えてみるとどうでしょうか。

毎日とびきりのご馳走がなんの苦労もなく目の前に置かれる生活。栄養価は高いけれどもしかすると一年中決まった味の食べ物が出されるかもしれません。あなたがシニアになるか病気になるかしない限り毎日同じ食べ物が提供されるかもしれません。今日食べる物を選ぶ楽しさや一生懸命探し出してやっと口に含む感動などとは無縁の生活をどう感じますか。現代の生活の中では犬や猫が長い進化の過程で獲得した超高性能な嗅覚はその本領を発揮する場がありません。

ノーズワークは犬や猫に自らの力で食べ物を探し出し獲得する楽しさを与えます。その結果彼らが潜在的に持つ「自力で餌を探し出し獲得する能力」を呼び起こすことができるのです。だから子犬からシニアまでどんな世代でも、病気がある子も不安で飼い主から離れることができない子も心からの意欲が引き出され夢中になるのです。

本講演では犬が匂いを通して世界をどのように認知しているのかを動物行動学的に紐解きながらノーズワークのもつ様々な効果をご紹介します。猫派のみなさんのために猫のノーズワークについても触れたいと思います。ペットと飼い主にもっとも近い存在である愛玩動物看護師だからこそ知っておいて欲しい情報をたくさん詰め込んで有意義なひとときとなることを願っています。

## 日本動物看護学会 第14回関西地区例会 実行組織

例 会 長      西          景子（オリーブ動物医療センター）

運営委員    奥井      裕子（KyotoAR 動物高度医療センター）

梶      英美子（KOBE 三宮動物病院）

金井      優佳

木村      友亮（泉南動物病院）

小齊平   美樹（大阪 ECO 動物海洋専門学校）

丸山      帆夏（ダクタリ動物病院京都医療センター）

京都動物専門学校 愛玩動物看護学科 2年生 有志8名

（50音順、敬称略）

お断り：本誌に掲載された全ての記事内容は無断で複写・複製（コピー）・転載することを禁止します。